

平成27年度極域科学専攻在学生アンケート集計結果

1. 趣旨

当専攻の教育課程等に関するアンケートを行い、学生の意見を聴取することで、当専攻の教育課程、教育研究環境等の改善に資することを目的とする。

2. アンケート実施方法

極域科学専攻生にアンケート用紙を個別配布（wordファイルで配付）し、電子データ又は紙で回収。

3. 回収率等

- (1) 対象在学生数 19人
- (2) 回答数 3人
- (3) 回答率 15.8%

4. 集計結果と個別分析

評価基準は各項目共通（自由記述部分を除く）で次のとおり。

「4：強くそう思う 3：そう思う 2：そう思わない 1：全くそう思わない」

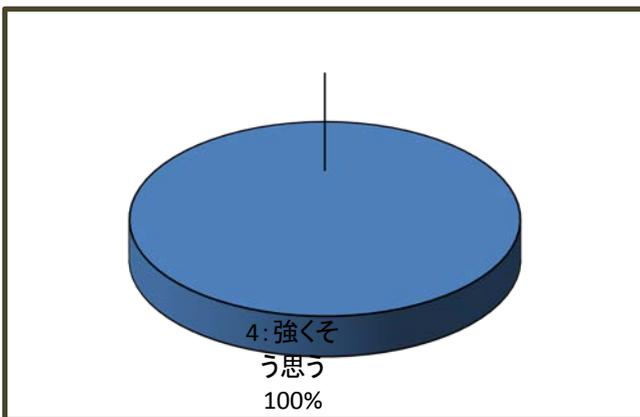
なお、無回答及び該当無しという回答については、集計の対象からは除外した。

コメントは回答結果をもとに事務局が原案を作成した。

(1) 研究指導について

1) 研究指導を複数の指導教員で行う複数指導体制は機能していると思うか。

4：3件 3：0件 2：0件 1：0件 【平均4】

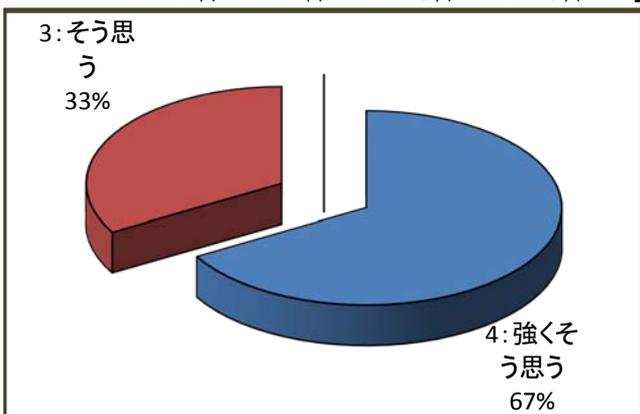


(コメント)

4の回答が10割を占め、複数指導体制が機能しているとは評価されていることがわかった。

2) 指導教員は研究指導に十分な時間を割いていると思うか。

4：2件 3：1件 2：0件 1：0件 【平均3.67】

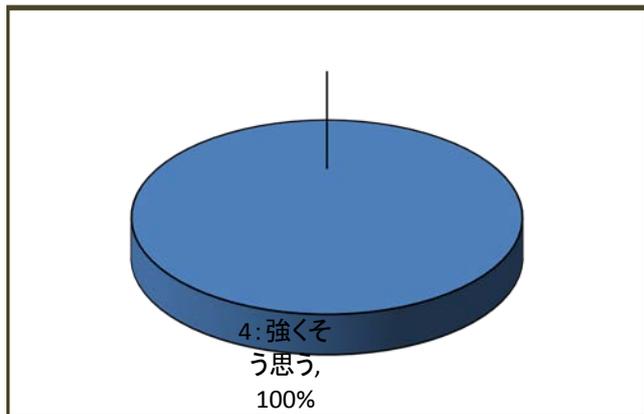


(コメント)

4と3をあわせて10割を占めており、十分な時間を割いて研究指導を行っていると思われる。

3) 指導教員は学生の研究計画策定に関し適切な助言を行い、研究計画の実施に際しては適切に指導を行っていると思うか。

4 : 3件 3 : 0件 2 : 0件 1 : 0件 【平均4】

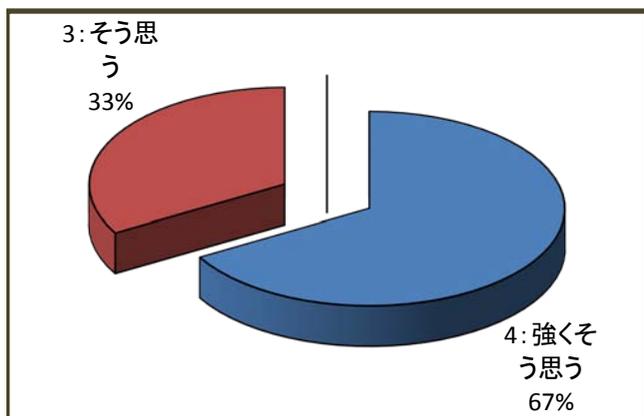


(コメント)

4が10割であり、適切な助言及指導を行っていると言える。

4) 総合的に考えて研究指導に満足していると言えるか。

4 : 2件 3 : 1件 2 : 0件 1 : 0件 【平均3.67】



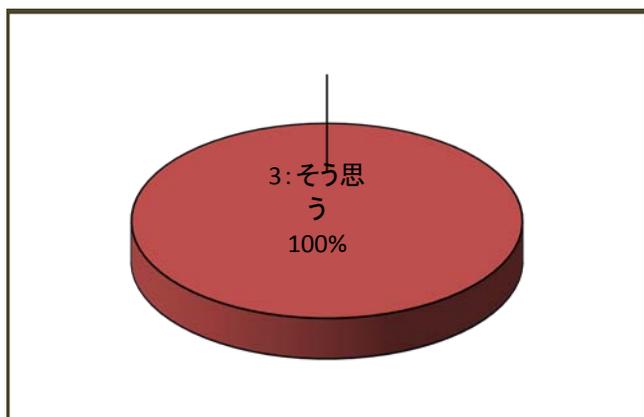
(コメント)

4と3をあわせて10割であり、ほぼ適切な研究指導をしていると言える。

(2) 教育課程(カリキュラム)について

1) 専攻で開講している専門科目は当該分野での学位取得に向けて必要な科目を網羅していると思うか。

4 : 0件 3 : 3件 2 : 0件 1 : 0件 【平均3】

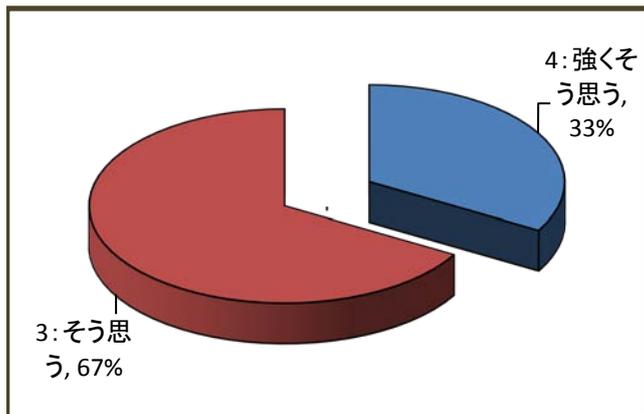


(コメント)

3が10割で、学位取得に必要な科目をほぼ網羅していると考えられていることがわかった。

2) 研究科で開講している研究科共通基礎科目は、研究科の共通基礎科目として適切な内容だと思うか。

4 : 1件 3 : 2件 2 : 0件 1 : 0件 【平均3.33】



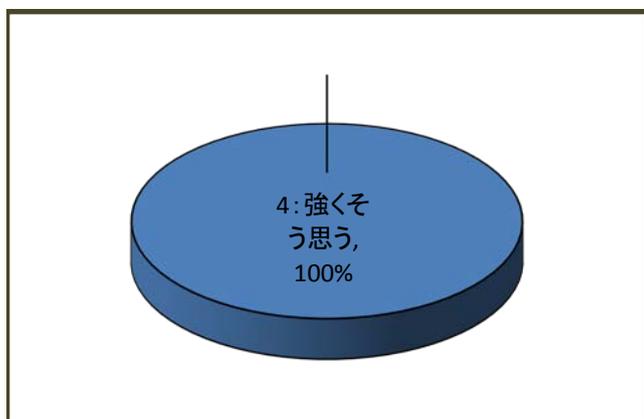
(コメント)

4と3の回答が10割であり、ほぼ適切と考えられているといえる。

(3) 教育研究環境(施設及び設備や経済的支援等)について

1) 学生の居室のスペースは十分と思うか。

4 : 3件 3 : 0件 2 : 0件 1 : 0件 【平均4】

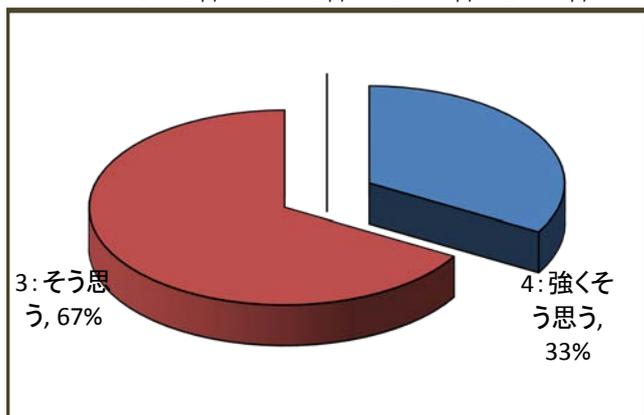


(コメント)

4が10割で、居室スペースには満足していることがわかった。

2) 学生が研究活動を実施する上で必要な機器等の設備は十分と思うか。

4 : 1件 3 : 2件 2 : 0件 1 : 0件 【平均3.33】

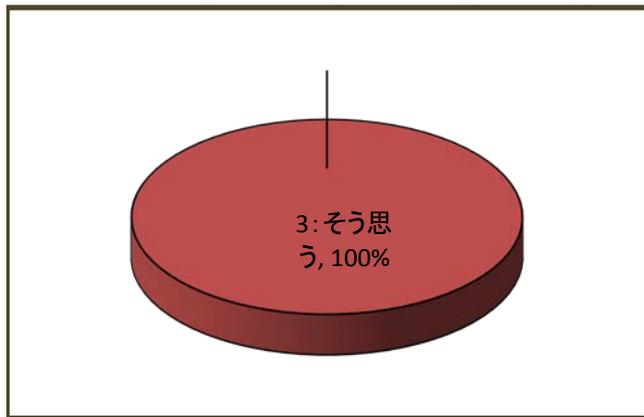


(コメント)

4と3あわせて10割を占め、概ね機器等の設備が整っていると評価されている。

3) 図書室の蔵書は十分と思うか。

4 : 0件 3 : 3件 2 : 0件 1 : 0件 【平均3】

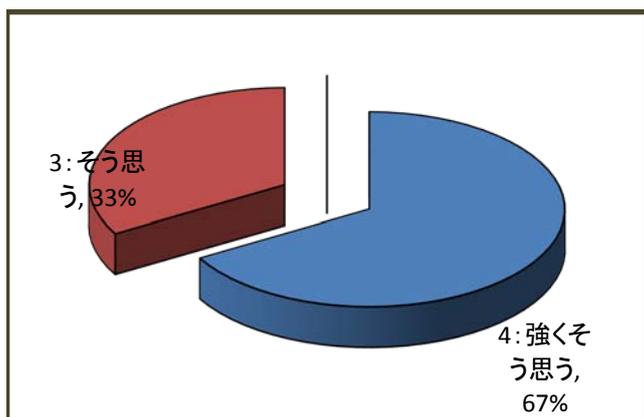


(コメント)

3が10割であり、図書室の蔵書にほぼ満足している様子がうかがえる。

4) 利用できる電子ジャーナルの種類は十分と思うか。

4 : 2件 3 : 1件 2 : 0件 1 : 0件 【平均3.67】

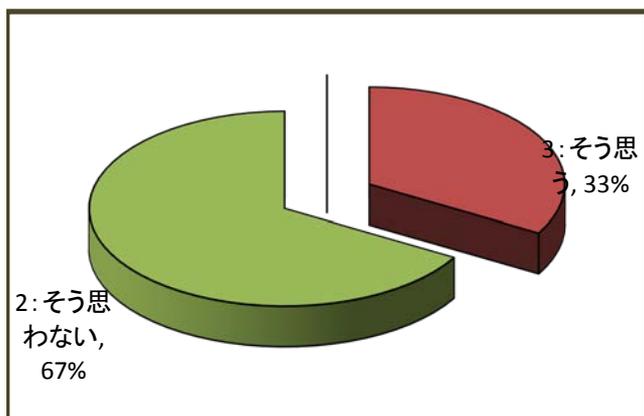


(コメント)

4と3の回答が10割を占め、学生は研究所で利用できる電子ジャーナルについておおむね満足していると考えられる。

5) 図書室その他の施設の利用はしやすいと思うか (利用時間、利用条件、利用手続き等の点から)

4 : 0件 3 : 1件 2 : 2件 1 : 0件 【平均2.33】

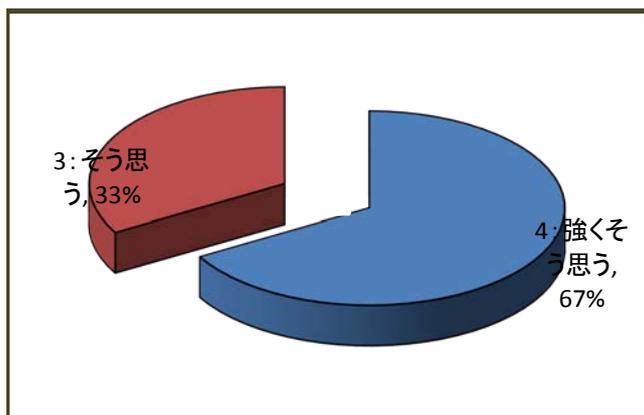


(コメント)

2の回答が半数以上を占め、図書室その他の利用に不便を感じていることがわかる。

6) リサーチアシスタントは学生の研究能力向上に資するものとなっていると言えると思うか。

4 : 2件 3 : 1件 2 : 0件 1 : 0件 【平均3.67】

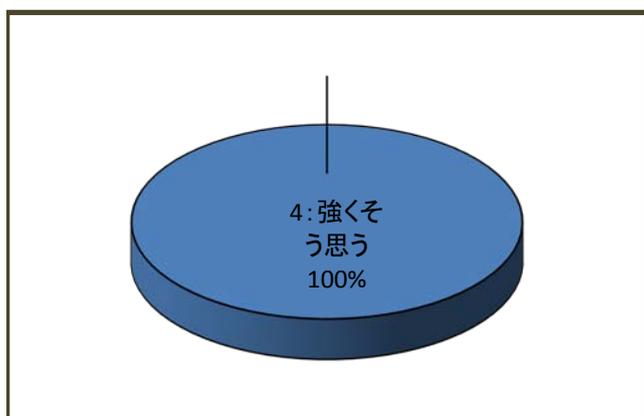


(コメント)

4と3あわせて10割を占めており、概ねRAが学生の研究能力向上に資するものになっていると言える。

7) 学生の研究活動支援対策（学生支援経費による交通費、宿泊費の支援、旅行時の傷害保険に専攻として一括加入等）は十分と思うか。

4 : 3件 3 : 0件 2 : 0件 1 : 0件 【平均4】



(コメント)

4が10割であり、良好な結果である。

5. 各項目におけるまとめ

(1) 研究指導について<項目(1)-1)~4)>

おおむね良好な回答であった。

(2) 教育課程(カリキュラム)について<項目(2)-1)~2)>

おおむね良好な回答であった。自由記述は以下の通り。

(2)-1)教科書・論文等の輪読会など(ただし、研究室別でフォローしている場合は良いと思います。)
私の研究室では、教科書の輪読会を行っていますが、普通上の授業より役に立っていると考えております。

(3) 教育研究環境(施設及び設備や経済的支援)について<項目(3)-1)~7)>

おおむね良好な回答であった。情報図書室に関する意見が多く寄せられたので、担当へ伝えて検討してもらう。自由記述は以下の通り。

(3)-3) たまに、改訂版がない場合があります。

(3)-5) 電気が自動ですぐ消えてしまうため、非常に暗いです。図書館でゆっくり調べ物をできる環境ではありません。

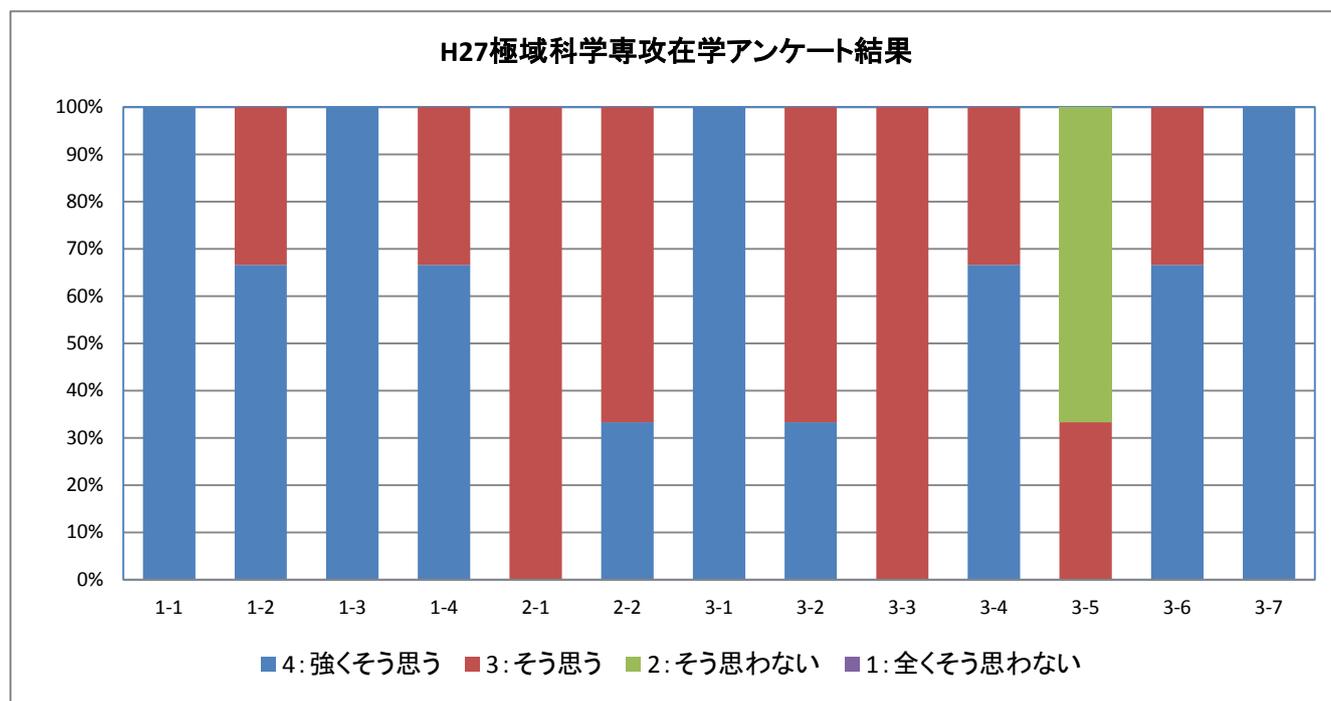
借りる際にカウンターまで持って行かなくてはならないところ(が利用しづらい)。

(4) その他

リサーチアシスタントについての意見が寄せられた。自由記述は以下の通り。

RAの採用期間が、5月から2月までのため一部の学生はRAを満額もらえていないことがありました(長期調査などの理由により)。

雇用期間を引きのばすか、長期出張の場合の救済処置などの制度があれば良いと考えています。そのような制度があれば、研究内容によってRAで得られるお金に偏りが生じることもないと考えております。



6. 今後の対応

平成28年度についても同様のアンケートを実施し、評価及び年度ごとの比較を行う予定。

ただし、回収率を上げる工夫が必要である。